



第1号 No.3「すべての人に健康と福祉を」を学ぼう！

発行: 延岡高校生徒会役員

1.SDGs活動について

昨年の生徒総会で2・3年生の皆さんに答えてもらったアンケートを集計したところ、「SSH高校ならではのSDGsを意識した取り組みを最優先で行った方がいい」と答えた生徒が1番多いという結果になりました。

よって今後の生徒会の活動で「SSH高校ならではのSDGsを意識した取り組み」を中心に行っていきます！具体的な活動として学校全体で1つSDGsナンバーを決め、それに沿った活動を約1ヶ月間ずつ行なっていこうと考えています。

コンセプト

『800個で救える命！ペットボトルキャップの力！』

この目標は、No.3「すべての人に健康と福祉を」に当てはまるもので、ペットボトルのキャップを集めて発展途上国の子供たちに十分なワクチンを届けたいという思いから設定しました。キャップ800個で1人分の命を救えるそうです。皆さんのご協力をお願いします！

5月15日月曜日から売店横で集めます。回収ボックスに遊び心を加えています🍀*

ぜひ参加してください！

2.世界の現状

健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。人種、宗教、政治信条や経済的・社会的条件によって差別されることなく、最高水準の健康に恵まれることは、あらゆる人々にとっての基本的な人権のひとつです。(引用:「世界保健機関憲章前文(日本WHO協会仮訳)」)

これは、WHOが定めている健康の定義です。このように“健康”であるためには、身体だけでなく、心も満たされている必要があります。

今、世界中には基礎的な医療保険サービスを受けられない人が世界人口73億人の半分、約36億5000万人いると言われています。これらのうち多くの人が、病気になったとしても、適切な治療を受けられれば健康を取り戻せるのに、予防接種やワクチンといった基礎的な医療保険サービスを受けられないことで亡くなってしまっています。

また、5歳の誕生日を迎える前に亡くなる子どもたちが年間約560万人もいて、これは5秒に1人の子どもが命を落としていることになります。途上国の5歳未満児死亡率は、なんと日本の約44倍というのが現状です。

〈参考文献〉

SDGs 3番目の目標を学ぼう。発展途上国の現状、日本の課題とは | HugKum (はぐくむ) (sho.jp)[アクセス日3.21]

たった一本のワクチンで助かる命がある。 | 日本ユニセフ協会 (unicef.or.jp)[アクセス日3.21]

800個で「ポリオワクチン」1人分—セーブオンがエコキャップ活動 - 高崎前橋経済新聞 (keizai.biz)[アクセス日3.21]

世界保健機関憲章[アクセス日5. 2]